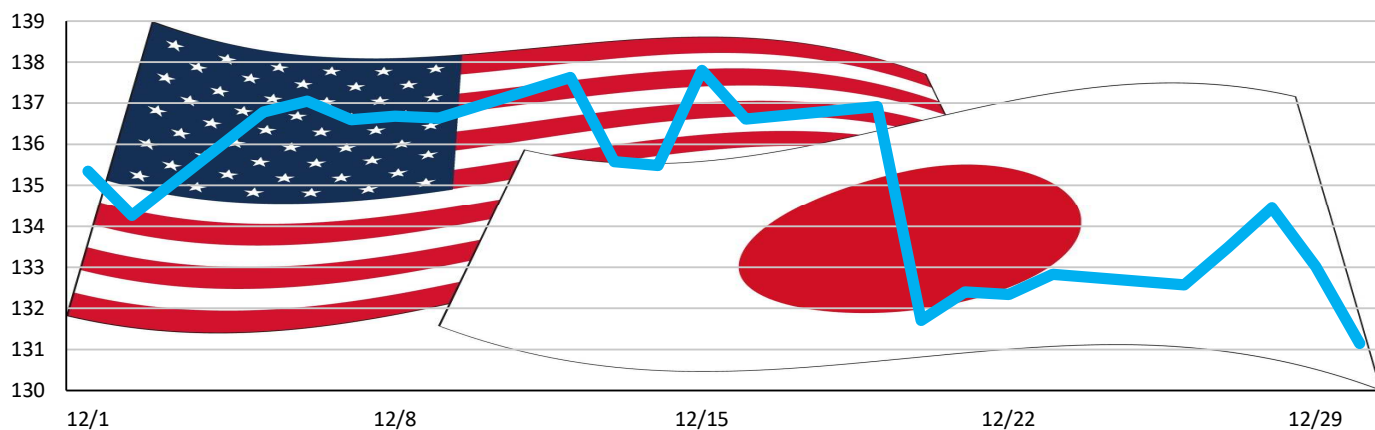


MARKET REVIEW

先月の振り返り：12月のドル円相場は138円前半～130円半ばで推移。月初は良好な米経済指標発表に支えられ堅調に推移する中、米消費者物価指数が市場予想を下回りドル売りで反応したものの、米FOMCで利上げ決定後には下げ幅分を解消する動き。ところが20日の日銀金融政策決定会合で長期金利の許容変動幅の上限を0.5%程度に引き上げると発表したことが事実上の利上げと受け止められたことで大幅な円買いが進み、ドル円は約4カ月ぶりの130円台半ばとなった。月後半にかけて中国が感染対策における入国規制を年明けから緩和する方針と報じられたことでリスク選好が進みドル円は134円台半ばまで回復してきたが、中国国内で新型コロナ感染拡大懸念が取り沙汰されリスク回避の動きでドル売りが進み、再び130円台半ばとなった。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開：新年早々薄商いの中、一時130円を割り込んだドル円相場。米FRBの利上げ打ち止め観測や日銀による更なる金融緩和の修正観測が取り沙汰され、日米金利差縮小を織り込んだ動きが広がりを見せている。大局は円買いドル売りの動きになっていきそうだが、パウエル米FRB議長が利上げは終了に近づいておらず今後も利上げを継続する姿勢を示し金融市場をけん制していることから、短期的にドル買いが進むことも想定しておきたいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
1 / 18 (水)	** : **	J P	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
1 / 26 (木)	22 : 30	US	米GDP速報値	☆☆☆☆
1 / 27 (金)	22 : 30	US	個人消費支出	☆☆☆☆
2 / 2 (木)	4 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
2 / 2 (木)	22 : 15	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
2 / 3 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
2 / 14 (火)	22 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。